

1月21日に開催された「第4回『中小企業を元気に!』シンポジウム」では、東京土建本部渡辺久技術対策部長をはじめ、4人のシンポジストがそれぞれの立場で発言しました。内容の一部を紹介し、(見出し・文責とも編集部)

# 第4回「中小企業を元気に!」シンポジストの発言



建築カレッジ卒業制作発表会 (2017年2月)



渡辺さん

公共工事設計労務単価で契約を見積り、それと社会保険料は別枠で請求することを、組合をあげて行なっています。設計労務単価は2013年から5年連続で約40%引き上げられ、現在、大工が一日2万4千円程度ですが、実際



新宿支部の石井隆さん(奥、中腰)の指導で中学生が職場体験

## 古い体質を転換する 渡辺義久 東京土建技術対策部長

は建設業独特の古い体質を転換するシステムです。個人個人の建設労働者が自分のカードを持ち、真正性を確保する。このカードを持つているのが本場の建設労働者だというしくみです。それに伴い、これだけ資格があるから、賃金をこれだけ欲しいという未来がやっと思えてきました。

職人が手に取るのは1万7千円か、もっと低いかもれません。その差額はゼネコンの内部留保に回っている。その金額を私たちに引き戻す運動を続けています。建設キャリアアップシステム

## 建設業で安全・安心

久末佳枝 世田谷区産業政策部長



久末さん

世田谷区では産業ビジョンを10年ごとに策定しています。今、策定の最終段階で、今年4月から10年の、産業の目指す方向性について作っています。これま

では商業、農業、工業と分けていきましたが、産業を横ぐしにさして行こうという大きな考え方になっています。

区民生活の視点では安全・安心、快適で環境と調和したまちとして、防災、防犯、都市農業の振興で緑豊かな区民生活を目標としています。安全・安心にこれまでクロスアップしてなかった建設業を位置づけています。インフラ、都市基盤の整備・維持する役割ということで建設業を入れるのが重要な変化です。

1986年の墨田春樹懇話会小零細業者実態調査がきっかけで東部共同行動の「共同」のテーブルが確立し、その後行なわれました。実態調査したら交流会を行ない、東部7区役所に要請行動をするのを繰り返してきました。この行動に業者と労働者が共同して取り組んだことが運動発展に貢献しました。

雷大行進は消費税が導入されたときから始まり、すでに15回行なってきました。第1回は5000人が集まりました。97年の第4回大行進には台東区議会議員が参加し、区議会が全会一致で意見書を出した。参加するのは区民への責任」と激励しました。2001年の第7回大行進からは念願であった雷門の前を通るコースが実現しました。



林さん

## 「給与はコストか?」

林哲也 中小企業家同友会

「働く環境の指針」というのは初めて聞くと思います。同友会の経営労働委員会

を中心に議論しています。同友会が重視しているのは社内の環境を、指針をもって明確に取り組んで行こうということです。10年後の労働環境は

ジョーン、社員とともに「ありたい10年後の労働環境」を議論しよう、今年の春以降提起するジョーンのカイドラインを作っています。

## 業者と労働者が共同

中村和良 東部共同行動実行委員会



中村さん

り、それならばとキャラバン行動を実施しました。1988年2月、江東西税務署では機動隊が門前をカードする一幕もあり、同年9月、請願権を行使して東部9税務署と要請しました。

まず下の孫が希望の大学に入りました。残念なことは、上の孫が大学をやめたよと言ってきました。その理由が卒業までに奨学金の借金が600万円になるというです。そんなに借金をするくらいなら、すぐに働いて外国に行くと言います。

## 孫は孫の人生なのだが

主婦・岩井小夜子

昨年の3月は、嬉しいことと残念なことが一緒にきました。

大学、本当に残念でした。孫は孫の人生、私が決めることではないけど、生まれながらに全額とは言わないけど、月に1万円程度の返済なら何とか返せるかも。また年金も払うとなると、きつと気が重くなってしま

これでも貧富の格差が根性のなさか、一時気が重くなりました。

(板橋)

## 古希の手前まで働き 身内同然の仲間と年齢重ね

塗装・安立孝章 私が塗装の世界に入ってから50年近くなる。2017年3月17日、42年間働いた会社が廃業してしまっ

た。会社自体町場の工務店が得意先の中心でほとんど代替わり、直接のお客さんも代替



わらずれば取引もなくなってしまうなど、ここ数年いつ廃業するかずっと気になっていた。1年、また1年と延びて、古希の手前1年まで働かせていただいた感じた。

(小平東村山)